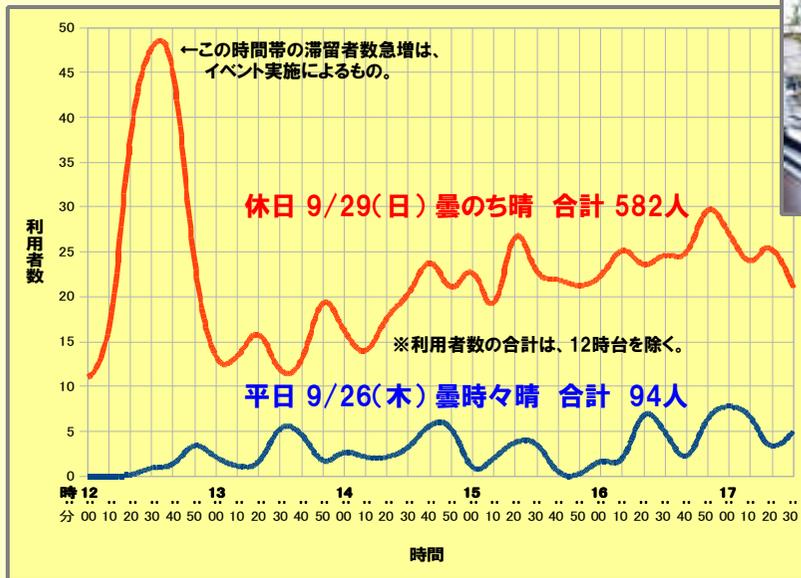


# アメリカ村・三角公園の利用状況【1985年9月・10月】

リニューアルされた三角公園を向かいのビルからビデオで撮影し、利用状況を定点観測した結果を紹介します。

＜「アメリカ村・三角公園の調査」1985年11月、(株)フェイレイ＞

## ■三角公園の滞留者数（1985年）

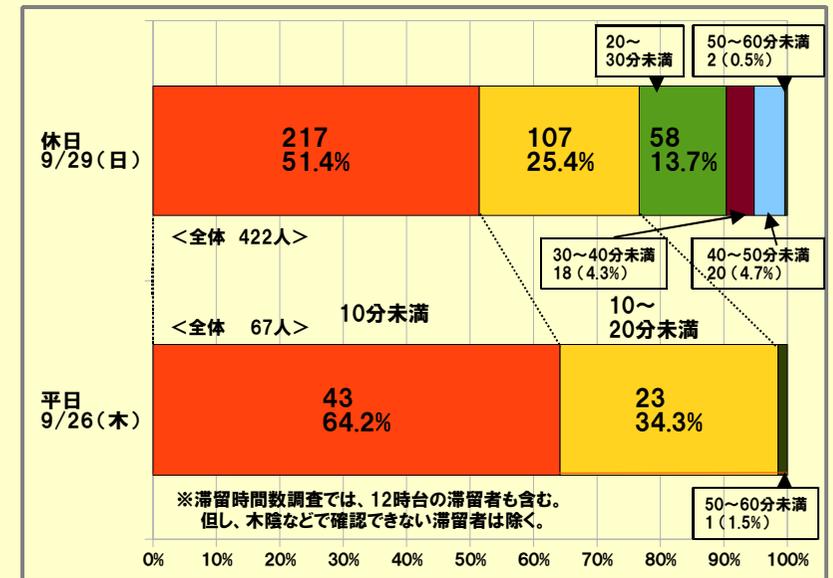


三角公園をビデオと写真で定点観測



1984年5月「ユニークタウン宣言」

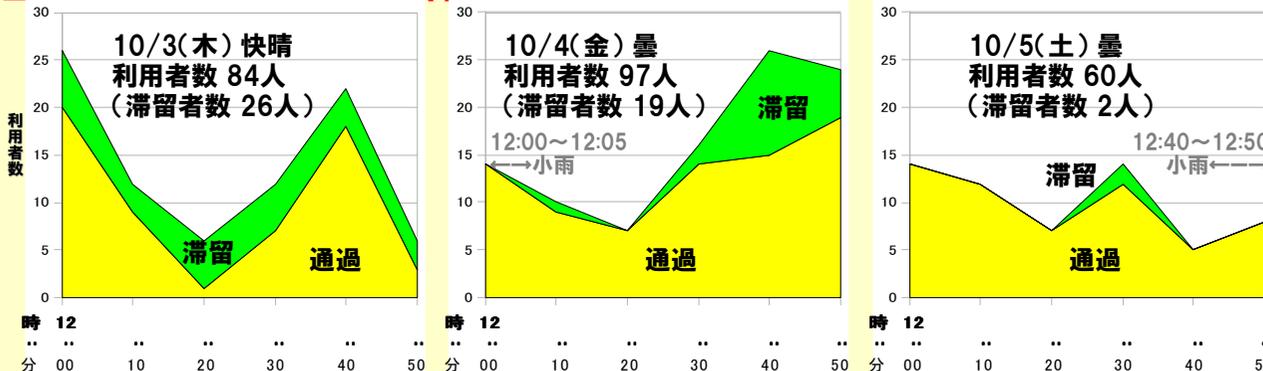
## ■三角公園の滞留時間（1985年）



10分毎に見ても、三角公園には平日1~8人、休日11~31人の利用者がいる。  
1時間当たりで見ると、平日は20.9人/時間、休日は129.3人/時間。  
休日はまるで小さなイベント会場化し、平日の6倍以上の人出。

平日は20分以下の滞留がほとんど。  
10分未満が全体の3分の2、10~20分未満が3分の1程度。  
休日になると、30分以上の滞留が増えてくる（全体の10%弱）。  
それでも休日の10分未満と10~20分未満の比率は64:34となり、平日と同じ程度。

## ■三角公園の12時台利用者数（1985年）



滞留人数だけでは、公園の利用度が見えないので、12時台のみだが、公園内の通過者数と滞留者数も木~土曜の3日間だけ調査した。  
三角公園内に立ち寄った利用者数は、そのそれぞれの日で60~100人弱。しかしそのうち、滞留する割合は3.4%~31.0%となり、日によって大きく異なっている。  
天候にもよるが、公園のよりよいあり方を考える上では、通過者への配慮も重要な要素と考えられる。

# アメリカ村・三角公園 リニューアル評価①【1985年】

大阪市と大阪21世紀協会の「ユニークタウン宣言」を受けて、1985年にリニューアルされた後、三角公園はどのようにとらえられたのだろうか？ 周辺の店主10名にヒアリングを行なった結果をまとめました。

＜「アメリカ村・三角公園の調査」1985年11月、(株)フェイレイ＞

## ●クリーン

### ・ゴミが少なくなった

タバコやたこ焼の皿などをゴミ箱に捨ててくれるようになって、不潔さがなくなった。

### ・浮浪者がいなくなった

布団を持ち込んで寝たり、小便をしたりで汚かったが、公園がきれいになって、街全体がきれいになった。

### ・犬の糞が少なくなった

前は犬の糞とかで汚なかった。

## ●利用者層のひろがり

### ・今まで公園に来なかった子どもたちも

滑り台やブランコのあった以前の公園や阪神高速の下の公園でも、子ども向きな遊具は利用度が低かった。今の子どもは裕福で、すっきりした場所でも、スケートボードなど自分の持っているもので遊びを作る。

### ・普通に居れる場所

じいさんばあさんが居れる場所という感じがする。今の若い子はそういうタイプが多いから それでいい。パフォーマンスとか言ってる時代に、逆に何でもない休息場所ができた感じ。みんなであたりまえのことをしていこうとしている。

## ●出会いが増えた

### ・地方からのお客さんと近所の人との交流

地方から遊びに来て、アメリカ村をあまり知らない人が、近所の人にいろいろ尋ねて話をする機会も増えている。公園の中では、まったく違うグループの人が一つになって話がはじまる。

## ●利用時間のひろがり

### ・夜中でもたくさんいる

夜中の3時半頃でも人がたくさんいる。最初はエルパソの人が練習してたのからはじまった。テーブルコーダーを持ってきて、穏やかに楽しんだりしている。たまにはめをはずす人もいるが、意外と少ない。

## ●三角公園の役割

### ・イベントで集客を

商売人は公園を利用したかったが、騒音問題などで地元の反発を受けて、何かやりたくてもできない状態で、利用しづらい公園だった。公園が新しくなったことを契機にして、若者を呼び込んで街の活性化を図る必要がある。そのためには、地元との調整、騒音の解決が必要。そうすれば公園も利用しやすくなる。従来型の公園利用ではなく、イベントを仕掛けるなど、人が集まるようにすべき。

### ・まちのステージ

やっぱりまちには公園は必要。公園っていうのはまちではステージだから。この前も寛斎の「元気！」って描いた服着て、ファッションショーみたいに歩いている若者がいた。店のなかにも花道が必要だと言われている。

### ・アメリカ村のヘソ

結構、存在価値は大きい。やっぱりまちには何か1つポイントがないといけない。昔はお宮さんであったり、川の流れであったりした。それがこのまちでは三角公園。お宮さんは何も商売してないが、そこにお参りに来る人で周辺が栄えて、門前町ができる。だから三角公園も特に人を惹きつける魅力はないが、一種の遊び空間。三角公園にビルが建って、ショップが入ってもよくない。

### ・アメリカ村の灯台

自分の位置がわかるある種の灯台みたい。アメリカ村は完全な商業地区じゃなく、会社もあり、住んでる人もいる。公園を一つの役割に絞ると、使い方も一つしかできなくなり、みんなの公園じゃなくなる。方向性を決めない方がいい。

### ・リビングルームのような公園

家族が集まる場所のようなリビングルームの中心が三角公園。いろんな人がコミュニケーションがはかれるような、公園づくりが必要。

## ●アメリカ村の変化

### ・世代層のひろがり

以前はファッション目当ての若者だけだったが、その若者が家庭を持ち、家族連れで来たりしている。子どもから老人まで幅広いニーズにこたえる場所になりつつある。

イガグリ頭の学生ばかりから、かなり客層が広がった。ニューファミリー層が特に増えた。昔は特殊な客層で店舗も少なかったが、店舗数も増え、以前からあった店でも品薄ではやっていけないので、品揃えも広がった。

### ・若者の激増

いろんな世代層が全体的に増えたというより、若者が突出して今まで以上に増えた。

### ・周防町の通りは人が増えた

公園の北側、周防町の通りは増えたが、西側の通りの八幡筋までは増えていない。

### ・ナチュラルブームの時代に合ってる

アメリカ村には天候がある。心斎橋や梅千カ、なんばシティのようなショッピングモールと違い、雨も降れば、天気の良い日もあって、今の健康ブームに沿っている。自然の公園のあるアメリカ村は、今の時代に合っている。

### ・これからはいろんなビルが建つようになる

ミナミの都心ながら、発展が非常に遅れていたが、これからはますます地元の人が土地を売り、新しいビルが建つようになると思う。

### ・かつての匂いがなくなってきた

これまでのアメリカ村は竹下通りと違って、普通のメーカーが持ってくるものが売れず、何かわけのわからないような物ばかり売っていた。でもそんな服と、おもしろグッズは全然違う。それが今、服までもおもしろグッズでないと売れなくなってきた。商品を見る目がなくなってきた気がする。お客さんがむちゃくちゃ薄くなってきた。なにもかも軽くなって、アメリカ村は匂いがない場所になった。三角公園でアイスクリームもってたむろしているだけで、十分アメリカ村で遊んでるような気になっている。アメリカ村というのは、もっと全体的なパワーをつけていけないといけない。

# アメリカ村・三角公園 リニューアル評価②【1985年】

周辺の店主10名へのヒアリング結果の他に、一般の方から集めた三角公園への声も紹介します。

＜「アメリカ村・三角公園の調査」 1985年11月、(株)フェイレイ＞

## ●三角公園の改善要望

### ・規模

歩行者天国と違って、まわりの交通事情もあって、大規模に利用できない。

### ・設備

形はもうちょっとラフな感じにしてほしかった。アメリカの星とかがついてる塔が邪魔なので、なくして広くしたほうがいい。

トイレや売店がほしい。

街灯は夜、消灯してほしい。アベックが寄ってくる。

### ・マナー

公園は、利用者のマナーが肝心。若者のマナーの悪さが目立つ。土曜の夜などは、大学生が集まって朝まで音楽をかけて踊っている。

### ・イベントの騒音

あんまりうるさいと言われるのだったら、音だけ締めだすのはどうかという意見もある。そうすると、もうイベントの意味がないという意見もある。ぼくが住民だったら、ある程度辛抱しないといけないと思う。

### ・公園の周辺環境の整備

公園周辺の道路問題や電柱などの問題を徐々に解決すべき。

### ・イベントの運営面でもっと自由に

せっかく「ユニークタウン宣言」したのだから、他の地域とは違う特典みたいなもので、運営面の利用のしやすさを与えてほしい。そうすると活性化ができる。公園というのは、もっと自由に使えてエンジョイできるスペース。三角公園にしても、もっとみんなが好きな事を好きなようにできる場所。誰が何をしようと、自分の責任のもとでもっともっと自由に遊べる。じっとしてるのも1つの遊びで、絵を書くのも手品するのも1つの遊び。みんなが最低限に秩序さえ守ったらい。いちいち許可を取りにいくなとか、それは公園じゃない。三角公園がこういうふうになったらいいなと思ったのは、ニューヨークのワシントンスクエアのような感じ。もっともっと人がわんさかいて、ギターを弾いてる人がいたり、こっちは自分の古着を売っていたり、あっちでは何かしてるみたいな感じ。それも企業のものではなく、あくまで個人のエンジョイであるべき。

## ●広場の在り方例

### ・パブリックスペースへの転換

公園には緑があって、子ども向けの遊具や砂場、滑り台、ベンチがあるというのは固定概念。そういった固定概念はもう除いてしまった方がいい。まあ緑はある程度必要だが。広い意味での公園はそういうものだけではない。パブリックスペースであるべき。

### ・神戸の北野の異人館通り

一つビルを建てたら、木があって空間をつくるまちづくり。キングスコートという建物の場合、U字型の真ん中に木が植えてあり、全体の半分も占める空き地があって、公園のようになっている。そこにいつも誰かがいて、だから建物に人がたくさん集まる。異人館通りには公衆便所がない。市が造ろうとしても反対されるので、民間が自分の物件にある便所を公衆便所として提供し、市が経済面を補助するといううらやましい事例。

### ・日本古来の広場づくり

神社には会館があって、そのまわりに大きな広場がある。この広場はお旅所といって、祭の時、だんじりはそこから出発して町中を回って、また戻ってくる。お旅所でだんじりをぐるぐる回すと、お客さんがそこへ寄ってくる。今で言うと、コミュニティ広場。広場というのは小さいものでいいと思う。だから日本古来の広場は、これからの公園づくりの参考になるのではないか。西洋の公園の模倣ばかりじゃなしに、日本的な部分が必要になってくる。

### ・落ち着いた座れる公園づくりのためにお店を

韮公園はテニスやサッカーができるついでに公園があるが、扇町公園は人の通る場所でしかなく、落ち着いた座ってられない。なにかたこ焼屋さんでもいいから、お店がほしい。

## 一般から見た三角公園

### ・公園でコンサートできるのはすごい

三角公園でユニークタウン宣言のイベントを見た。小さな公園でもコンサートができるのはすごい。地元の守口にはない環境。さすがミナミ。(10代の男子グループ)

### ・休憩するのにいい場所

喫茶店に入るのもったいない。もっと月1回くらいはイベントなどやったらいい。(10代のカップル)

### ・交番もおしゃれな感じにしたらいい (20代のカップル)

### ・休憩するのにいい場所

子どもにも、待合わせにもいい公園。買物途中に子どもがぐずると、主人に面倒見てもらって子どもを遊ばせるのにいい公園。待合わせの場所としてもいい。(30歳前後の子連れファミリー)